

ヒアリングツール

打ち合わせ内容については以下の IP カルテ及びチェックポイントシートを用いて記録します。

基本情報	一般名称		1位	
	品番		2位	
			3～5位	
			不明	
	事業責任者		①	
	開発者		②	
			③	

			詳細記録
			→
			→
			→
			→
			→
			→
			→
			→
			→
			→

特許出願時におけるチェックポイント

記入日付： _____

整理番号： _____

記入者： _____

(1) 方式チェック

①明細書の全般の形式
達成

- 明細書の書式が正しい
- 【課題を解決す～効果】が正しい
- MA&IS は【課題～ための手段】
【発明の効果】の形式スペース
- 【符号の説明】のスペース2つある？
- 『手法』ではなく『方法』
- 『これらのことより』は×
- 語彙の句読点は正しい？
(プリベーク or プリベークノ、と、等)
- 『本発明の実施例～』×
『本発明の実施の形態～』○
- 『出来る』『良い』はひらがな記載
- 『など』は漢字記載
- 従来技術の公報番号は正しい？
- 材料の名称等の誤りは無い？
- 数値限定の誤りは無い？
- 図面および明細書中の符号は一致？
- 配列表の記載漏れはない？
- 願書の発明者の記載順は？

②【特許請求の範囲】の形式
達成 未達成

- 【請求項1】～順に番号か
- 文頭末の語彙【発明の名称】が一致
- 言葉は統一されているか
- 引用する従属項の番号に誤りがないか
- 物、方法、製造方法、プログラムか

③図面の形式
達成

- 図番の順は図1～順にあるか
- 図面中に不明な用語を使用していないか
- 矢印の抜けがないか
- 図面サイズが守られているか

- 1装置の内部構成を示す場合のアンダーバ（_+!）が記載されているか？
- 線種、ハッチング等の統一か
- 断面図で断面を省略せず記載したか
- グラフの単位等日本語表記したか

(2) 実体チェック

①明細書の内容

i) 従来技術
達成

- 従来技術に推測文&作成していないか
- 本当に公知の事実のみ記載しているか
- 【発明の属する技術分野】に今回の技術分野を詳細に書いていないか
- 本発明のポイントが容易となる程度の詳細を記載しすぎではないか
- クライアントの従来技術を明らかに否定していないか？

ii) 特許請求の範囲および効果
達成

- クレームでは、広い用語で記載したか
- メインクレームで、従来技術との差が明らかにされているか
- 発明のポイントが明確か
- 効果は、その請求項にとって特有な効果が記載されているか
- 各々の請求項の内容に応じた別個の効果が記載されているか
- 作用&効果が不十分ではないか
- 過去の文献にとらわれた請求項や効果の記載になっていないか
- 発明の構成を明確に捕らえているか
- 『構成される』よりも『備える』
- 請求項を読み、絵に表現できるか
- 絵を描き発明の装置と同じか
- クレーム⇔効果の相互確認

